# 3 井上ひさし『あくる朝の蟬』

 ⓐ桜並木はあと十数メートルで尽きようとしていた。そして尽きたところで旧街道とぶっつかる。旧街道を右に曲がって＊三町ほど行くともう祖母の家のはずだった。ぼくと弟は夏休みの後半をその祖母ので過ごすために、仙台の孤児院から故郷の町へ着いたところだった。ぼくが高校一年、弟が小学四年のときのことである。

「　　　　　Ａ　　　　　」

追いついてきた弟に調子をとるように声をかけながらぼくはまた歩き出した。弟は両手で持ったボストンバッグの重さと釣り合いをとるために体を後ろにⓑ反らせよたよたついてきた。旧街道はかなり大きな川に沿って続いているはずだった。川からの風はきっと涼しいだろう。川風が荷物の重さをすこしは忘れさせてくれるにちがいない。

「　　　　　Ｂ　　　　　　」

 ⓒ額の汗を手の甲で払って、ぼくは弟にまた声をかけた。ぼくが祖母の許へ来ることを思いついたのは、夏休みが始まって十日ばかりってからだった。孤児院の夏休みはひどい重労働だったのでどこかへ逃げ出す手はないかと必死で思案をめぐらせ、祖母のことを思い出したというわけである。孤児院の夏休みがなぜ重労働かというと、この期間に市民の善意や心づくしがどっと集中するからだった。（中略）

なにしろ善意の人たちは自分たちのⓓ施す心づくしがぼくらにどれだけ喜ばれているかをとても知りたがっていた。だからぼくらは心づくしへのお返しに必要以上にしがり、はしゃぎ、甘えてみせなくてはならなかった。そうするよりお返しのしようがなかったわけだが、これはずいぶんの疲れることだった。（中略）このままでは夏休みの終わらぬうちに過労のために倒れてしまうのではないかとえ、祖母にあてて手紙を①したためた。

「故郷を後にしてから早いもので三年たちました。驚かないでください。ぼくと弟はいま孤児院にいます」

たしかこんな書き出しだった。これに続けてぼくはたぶん次のように書いたはずだ。

「ぼくらが孤児院に入ったわけは、母の商売がうまく行かないからです。母は、男と同じように女にも意地というものがある、たとえどんなに困っても、またどんなにくても、に泣きついてくれるな、手紙を出すのもいけないよ、と言っています。でも、ぼくらはつくづく孤児院にいるのに疲れました。かといって母のところへは帰れません。母は旅館の住み込みの女中さんをしているのです。、突然のお願いですみませんが、ぼくらをのところへ置いてくれませんか」

　　　　　Ｃ　　　　　　、と書かなかったのは、ひょっとしたら祖母がぼくらを夏休みの間だけではなくずっと孤児院から引き取ってくれるかもしれないという期待があったからだ。

語注

町＝長さの単位。一町は約一〇九メートル。

問1　二重傍線部ⓐ～ⓓの漢字の読みを答えよ。（3点×4）

ⓐ〔　　　　　　　〕　ⓑ〔　　　　　らせ〕

ⓒ〔　　　　　　　〕　ⓓ〔　　　　　　す〕

問2　空欄Ａ・Ｂに入る言葉の組み合わせとして、 最も適当なものを次から選べ。（12点）

ア　Ａ：もうすこし、もうひと息

　　Ｂ：もうちょっと行くと楽になるよ

イ　Ａ：もうすこし、もうひと息

　　Ｂ：これからが頑張りどころだよ

ウ　Ａ：まだまだだ、これからだ

　　Ｂ：これからが頑張りどころだよ

エ　Ａ：疲れたかい、ぼくもだよ

　　Ｂ：もうちょっと行くと楽になるよ

〔　　　〕

問3　傍線部①「したためた」を「書いた」のかわりに使った「ぼく」の心情についての最も適当な説明を、次から選べ。（14点）

ア　「したためた」にすると、自分たちの惨めな境遇について、祖母によく理解してもらおうとする気持ちがより感じられる。

イ　「したためた」にすると、手紙としての形式をしっかり守り、手紙らしい手紙になるように書こうとした気持ちがより感じられる。

ウ　「したためた」にすると、祖母が自分たちを受け入れてくれるよう、表現の仕方を工夫して書こうとした気持ちがより感じられる。

エ　「したためた」にすると、自分たちの祖母を思う気持ちが伝わるよう、心を込めて書こうとした気持ちがより感じられる。

〔　　　〕

問4　空欄Ｃに入る言葉として、最も適当なものを次から選べ。（12点）

ア　善意と心づくしに疲れました

イ　夏休みの間だけでもいいです

ウ　母の考えも聞いてみてください

エ　ずうっと置いてください

〔　　　〕

練習問題〈同訓異字〉

次の空欄に適当な漢字を入れよ。

①あたたかい

　（　　）かい家庭。

　（　　）かい気候。

②やぶれる

　夢が（　　）れる。

　初戦で（　　）れる。

③あやまる

　操作を（　　）る。

　非礼を（　　）る。

④うつす

　鏡に顔を（　　）す。

　ノートに（　　）す。

⑤おかす

　法を（　　）す。

　危険を（　　）す。

【解答】

問1　ⓐさくらなみき　ⓑそ（らせ）　ⓒひたい　ⓓほどこ（す）

問2 ア

問3 ウ

問4　イ

【練習問題解答】

　①温・暖　②破・敗　③誤・謝　④映・写　⑤犯・冒

【50字要約例】

孤児院での夏休みに疲れたぼくと弟は永久的に引き取ってもらうことをひそかに期待し、祖母の家に向かった。（50字）